



地震に日ごろから備える

いざというときのために、家の中や周囲の安全対策や、災害用備蓄品の準備をしておきましょう。

家の中を安全にするために

- 住宅用火災警報器**
ボタンを押す、ひもをひくなどして、警報音が鳴るか確認する。
- 冷蔵庫**
動かないよう固定する。転倒しない対策をする。
- 照明器具**
1本のコードでつるすタイプのものは、鎖と金具で数か所とめる。
- カーテン**
防災加工されたものを使う。
- 窓ガラス**
飛散防止フィルムを内側にはる。
- 本棚・タンスなど**
L字型金具で固定するか、家具の下に板などをはさみ壁にもたれさせる。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でとめる。
- テレビ**
できるだけ低い位置に置き、金具やベルト、マットなどで固定する。
- ガスレンジ**
自動停止装置付きのものを使用する。
- 食器棚**
動かないように固定する。扉が開かないよう金具などをつける。
- 暖房器具**
対震自動消火機能のあるものを使う。
- テレビ台など**
キャスター付きの家具を使うときはストッパーをかける。

防災 記入チェック欄

こんな安全対策も大切

家具の少ないスペースをつくる

いざというときに、家族が家具の転倒や落下を避け、安全なスペースを確保する。

寝室やくつろぐ場所には背の高い家具を置かない

とくに子どもや高齢者などが就寝中に倒れた家具の下敷きにならないよう、寝室に大きな家具を置かない。

出入り口や通路に物を置かない

出入り口や通路をふさぐような場所に物を置かない。家具が倒れたときに備えて向きも考える。

重い物は下に収納する

家具の重心を安定させるため、重い物は下に、軽い物は上に収納する。

